磯津の言葉（諺）（第 25 回）

第 25 回は、前回に引き続き天候に関する諺（ことわざ）です。

＜天候に関する諺 No.4＞

① 季節に関するもの

区分	諺（ことわざ）
春	・三寒四温 ・暑さ寒さも彼岸まで。 ・奈良のお水取りが済まんと暖かくならない。 ・お釈迦さんが済まんと暖かくならない。
夏	・梅雨の中休み ・梅雨の長雨 ・盆ナガセは 3 日続く。 ・盆ナガセは 5 日続く。 ・盆ナガセは 7 日続く。
秋	・秋は三日で天気が変わる。 ・女心と秋の空 ・男心と秋の空
彼岸	・彼岸の雨の水はたまらん（＝たくさん降らない）。

②台風に関するもの

区分	諺（ことわざ）
雪	・嵐の前の静けさ ・210 日は厄日 ・嵐は南東から来る。 ・嵐は吹き返しが怖い。 ・西風が吹くと嵐も終わり。

③地名等が関係するもの（又は地名等を使うもの）

区分	諺（ことわざ）
寺社の縁日	・海山道さん(4/9)はは雨が降る。
地名	・朝熊（＝朝熊山）に雪がかからんと夏が来ない。

④その他

区分	諺（ことわざ）
体調・病気	・リュウマチや神経痛の人は天気がわかる。 ・腹がによによすると雷が来る（又は　鳴る）。
暦	・磯津の鯨船は雨がふるであかん
その他	・照る照る坊主を吊るすと天気になる。 ・履物を投げて緒が上になると天気（　逆さまになると雨）。

磯津ことばを記録する会（連絡先）　桜井好基